

## 記者発表資料

平成18年 4月27日  
企画部地域計画課長 羽白  
(フィルムコミッション推進室長 後藤 2717)

### 平成17年度いばらきフィルムコミッション(FC)の実績等について ～全国有数のロケ地として定着～

映画やテレビドラマなどのロケ誘致やロケ支援を行う「いばらきフィルムコミッション」(事務局:企画部地域計画課フィルムコミッション推進室)については、設置後3年6ヶ月(設置:平成14年10月1日)となり、この間614作品を誘致し、これらの作品が映画やテレビなどの映像を通して全国に発信され、茨城の知名度向上やイメージアップに繋がっています。

この度、映像製作関係者からのアンケート調査などを踏まえ、平成17年度のロケーション実績及びFC効果等についてまとめましたので、発表いたします。

なお、詳細については別添「資料」のとおりです。

## 県内初のハリウッド映画も撮影

平成17年度の撮影作品数は272作品(対前年度比1.45倍)、延べ撮影日数で632日(対前年度比1.09倍)、相談件数も697件(対前年度比1.18倍)。

広範囲に広がるロケ地

- ・ワープステーション江戸や国際会議場、古い建物などロケに適した施設としての認知度が高まり、自然風景だけでなく、まちの風景などのロケーションが増加。

【例:ワープステーション江戸の実績・・・作品数48(前年度比1.55倍)撮影日数136日(同1.43倍)】

ハリウッド映画「BABEL」(バベル) - 日本公開:2007年予定 -

- ・監督:アレハンドロ・ゴンザレス・イニャリトゥ(2000年カンヌ国際映画祭グランプリ受賞)
- ・4カ国で撮影実施。(メキシコ,モロッコ,LA,東京)
- ・県内ロケ:東京パートの一部が石岡市体育館で2日間に渡り撮影。(聴覚障害者のパレボール大会中)

## 経済波及効果,3年半で11億円超!

平成17年度の経済効果

県内消費推計額:約3億1千万円。 経済波及効果 :約4億3千万円。

過去4年度間の経済効果

県内消費推計額:約8億3千万円。 経済波及効果 :約11億6千万円。

## 県民も映画作りに参加

エキストラとして参加された県民は、映画「夜のピクニック」の高校生役など、延べ9,000人を超える。

## 観光PRにも活用

- ・県観光協会発行の観光パンフレット「いばらきe旅」に県内ロケ地を掲載
- ・各種イベントにロケ風景のパネルなどを出展,展示。
- ・県ホームページに、新たにロケ適地90箇所を約600点の写真で紹介。

県 HP URL : <http://www.ibaraki-fc.jp/>

## 全県的なロケ支援体制の確立

市町村と連携したFC活動の積極的な展開や市町村FC設置。

- ・平成17年度設置:潮来市,北茨城市,牛久市
- ・平成18年度設置:つくば市
- ・県内市町村単位の数は常総市と合わせて,5FC。

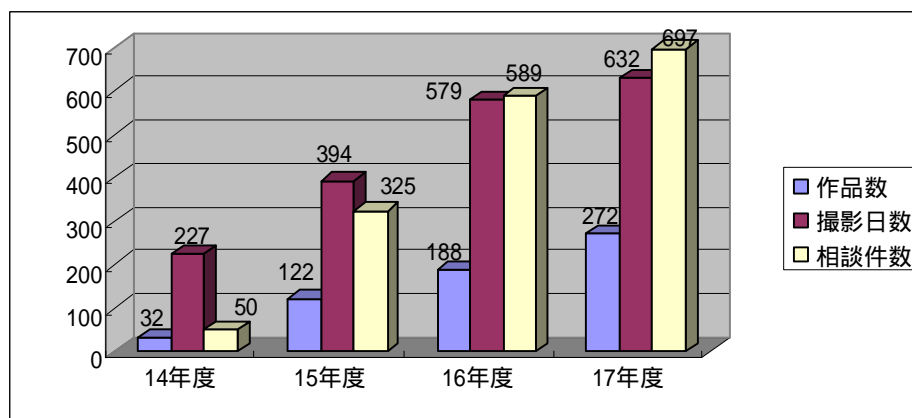
## 資 料

### 1 ロケーション実績について

#### 撮影作品数等

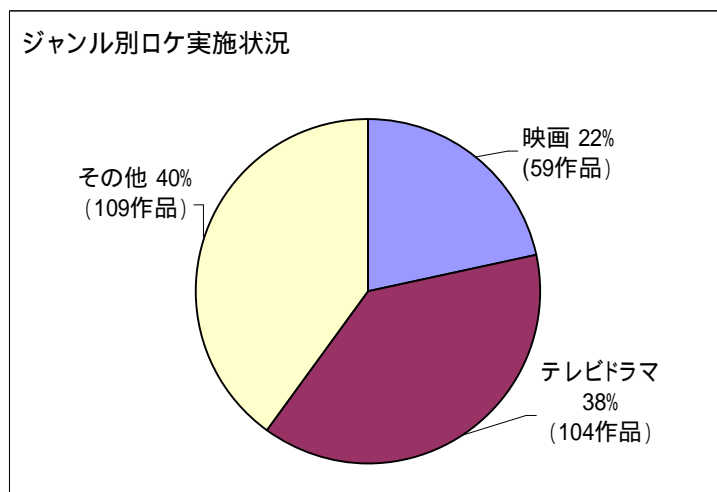
【年度別ロケ実績】			
	作品数	撮影延べ日数	相談件数
・平成14年度	32作品	227日	50件
・平成15年度	122作品	394日	325件
・平成16年度	188作品	579日	589件
・平成17年度	272作品	632日	697件
計	614作品	1,832日	1,661件

・平成17年度は、毎月平均約23作品のロケが県内各地で行われていることとなります。



#### ロケ地茨城を使用した作品

ジャンル別で見ると、映画59作品、テレビドラマ104作品、その他（コマーシャル、プロモーションビデオ等）109作品となっており、主な作品（映画・ドラマ）は別紙のとおりです。



#### (イ) 茨城県が舞台・題材となった作品

映画「夜のピクニック」：水戸一高出身の作家恩田陸が書いた作品。第2回本屋大賞受賞（平成18年秋公開予定） オール茨城ロケで撮影された。（撮影期間40日間）

##### 【ロケ場所】

水戸市、ひたちなか市、鹿嶋市、那珂市、茨城町、東海村

ドラマ「ママはバレリーナ」：お昼の時間帯の連続ドラマ。舞台は常総市（旧水海道市）（平成17年12月～18年2月） 「つくばエクスプレス」や「市名」が実名で登場。

ドラマ「さいごの約束」：月の井酒造の七代目社長が書いたエッセイをドラマ化。  
 (平成18年4月4日放送) 原作に忠実に、大洗町を中心に撮影された。  
 「大洗町」は実名で登場。  
 「茨城の米はうまい」などの台詞あり。

ドラマ「ブラックウィドー」：水戸を舞台にしたサスペンスドラマ。  
 (平成17年12月6日放送) 主人公は水戸地検の女性検事。

【ロケ場所】

水戸地検，水戸警察署，三の丸庁舎，泉町会館，千波湖，東照宮など

(ロ) 昨年に引き続き、県内で撮影された作品が、第29回日本アカデミー賞(2006.3.3発表)を受賞。

最優秀作品賞ほか13部門受賞：「ALWAYS 三丁目の夕日」

ラストシーンを、坂東市(旧岩井市)の利根川堤防で撮影。(撮影日：平成16年12月)

(ハ) 2006年公開の邦画130作品のうち、いばらきフィルムコミッションが支援した映画23作品(全国フィルムコミッション連絡協議会調べ)

・全国のFCの支援：65%(85作品/130作品)

・いばらきFCの支援：18%(23作品/130作品)

・FC支援作品のうち、いばらきFCの支援作品：27%(23作品/85作品)

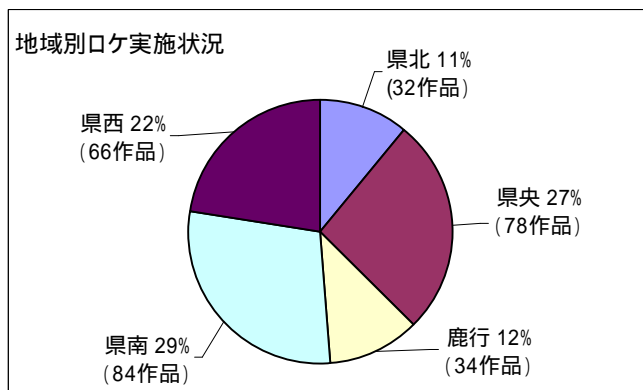
主な作品：「忍 SHINOBI」，「着信アリ2」，「交渉人 真下正義」，「蝉しぐれ」

「鳶がくるりと」，「同じ月を見ている」，「疾走」，「真夜中の弥次さん喜多さん」など

地域別ロケ状況

県北：32作品，県央：78作品，鹿行：34作品，県南：84作品，県西66作品

(作品数は重複)



(イ) 地域別の主なロケスポット

県北地域：「旧上岡小学校」(大子町)，赤浜海岸(高萩市)

県央地域：「三の丸庁舎」(水戸市)「旧畜産試験場跡地」(笠間市)

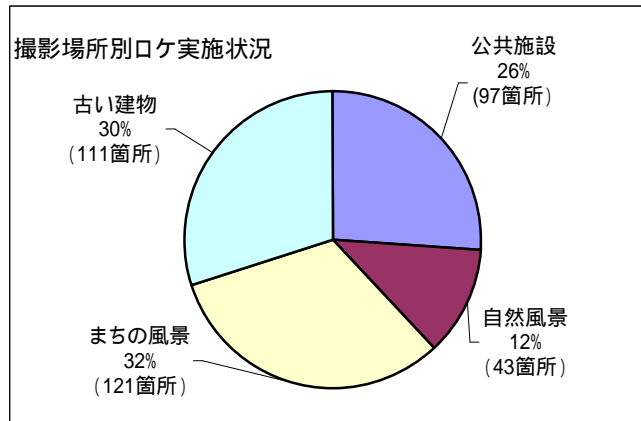
鹿行地域：「青塚海岸」(鹿嶋市)「旧八代小学校」(潮来市)

県南地域：「ワプステーション江戸」(つくばみらい市)「つくば国際会議場」(つくば市)

県西地域：「安楽寺」(常総市)，「谷口家住宅」など(桜川市)

### (ロ) ロケが行われた作品のロケ場所の傾向

- ・まちの風景（つくば国際会議場，商店街等） 1 2 1箇所
- ・古い建物（ワープステーション江戸，寺院等） 1 1 1箇所
- ・公共施設（三の丸庁舎，公民館，学校等） 9 7箇所
- ・自然風景（海岸，霞ヶ浦，河川，山並み等） 4 3箇所



## 2 フィルムコミッションがもたらす効果

### 撮影隊による県内消費額及び経済波及効果

(イ) 約4万人の撮影隊の県内消費推計額：約3億1千万円。

平成17年度に撮影隊がもたらした宿泊費，弁当代及び撮影機材等のレンタル料など，アンケート調査を基に算出。

#### 【年度別消費推計額】

- ・平成14年度 約 7千万円
- ・平成15年度 約1億7千万円（対前年度比2.4倍）
- ・平成16年度 約2億8千万円（対前年度比1.6倍）
- ・平成17年度 約3億1千万円（対前年度比1.1倍）

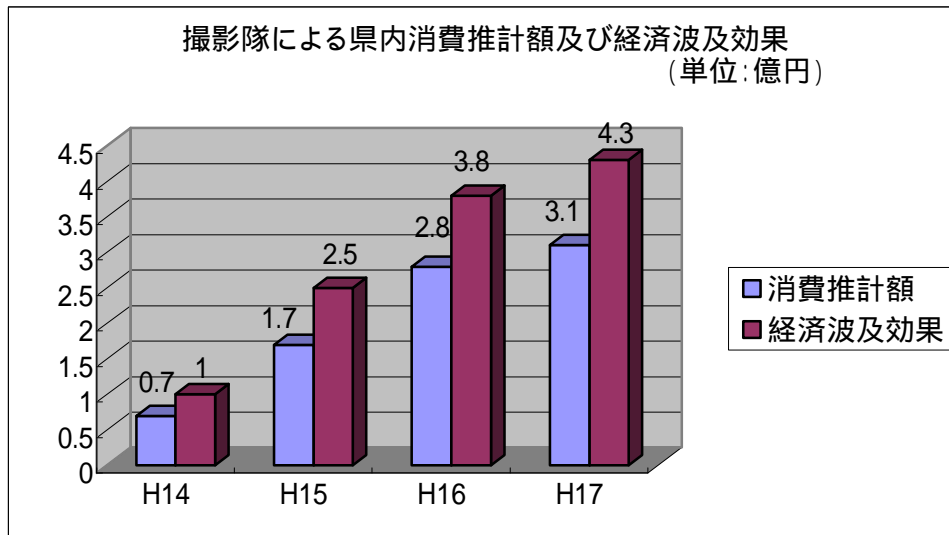
(ロ) ロケ隊消費推計額による経済波及効果の推計額：約4億3千万円

国土交通省総合政策局「ロケーション撮影による地域経済効果の推計手法等に関する調査報告書」の係数をもとに算出。

#### 【年度別経済波及効果】

- ・平成14年度 約1億円
- ・平成15年度 約2億5千万円（対前年度比2.5倍）
- ・平成16年度 約3億8千万円（対前年度比1.5倍）
- ・平成17年度 約4億3千万円（対前年度比1.1倍）

(八) 過去3年半の撮影隊の消費額は、累計で約8億3千万円、経済波及効果は約11億6千万円



### 茨城の魅力を全国にアピール

(イ) 完成した映画やテレビドラマなどが上映・放映され、エンドクレジットで撮影地として地名等が掲出。

【ロケ地等のエンドクレジット掲出をCM放映料に換算すると・・・】

テレビドラマで放映された映像は、約5,600万円のテレビCM放映料に相当。

(ロ) ロケ地茨城の話題がメディアなどで取り上げられる。

- ・映画「夜のピクニック」関連の取材多数。(週刊誌,映像業界誌,スポーツ紙,テレビ等)
- ・テレビ東京「ワールドビジネスサテライト」でFCの活動が紹介される。など。

(ハ) ドラマの中でまるごと「茨城」が登場。

ドラマ「ママはバレリーナ」(放送:H17.12.19~H18.2.3 全30話)

- ・つくばエクスプレスの走るシーンで「つくばエクスプレス」とテロップ表示。
- ・TX「守谷駅」,関東鉄道「水海道駅」の駅舎もそのまま放送された。

ドラマ「さいごの約束」(放送:H18.4.4 2時間スペシャル)

- ・「茨城の米はうまい。」「大洗の海はきれい」などの台詞満載。
- ・鹿島臨海鉄道大洗駅や車窓,高速道路上の看板もそのまま放送。

ドラマ「ブラックウィドー」(放送:H17.12.6 2時間スペシャル)

- ・舞台は水戸市。
- ・水戸の夜景をバックに「茨城県・水戸市」というテロップ表示からドラマが始まる。
- ・水戸地検,水戸警察署がそのまま登場。

### 映画,テレビドラマを支える県民エキストラ等

(イ) 9,000人を超える県民の方々がエキストラ出演

- ・映画「夜のピクニック」:延べ5,000人。(県内高校生多数)
  - ・映画「BABEL(バベル)」:延べ600人。(水戸聾学校生徒など出演)
  - ・ドラマ「上を向いて歩こう~坂本九物語」:延べ218人。(笠間市のみなさん)など。
- \*登録制のエキストラ団体等:伊奈町エキストラの会,いたこFCのエキストラ登録。

(ロ) 民間所有の施設等も撮影場所として提供。

- ・なめがた地域総合病院(行方市)
- ・東水ビル(水戸市)

- ・冥賀の里（大子町）
- ・つくばエクスプレス，関東鉄道常総線，鹿島鉄道，鹿島臨海鉄道，茨城交通那珂湊線の各駅や車内等。

#### ロケ地茨城を観光PRなどに活用

- ・県観光協会等と連携し，ロケ地を実際に訪ねてみたいと考えている旅行者にロケ地となった地域を観光パンフレット（いばらきe-旅）に掲載し，県内外にPR。
- ・「大好きいばらき県民まつり」や「つくばスタイルフェスタ」などの各種イベントへ出展し，ロケ地紹介のパネルなど展示。
- ・FC ホームページにロケ地を地域資源として，290箇所1，200点の写真で紹介している。